

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、
柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年5月発行 第5号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

令和6年4月25日（木）に第5回を開催しました。施設規模や防災機能、学校の歴史・文化などの「地域の拠点となる学校づくり」をテーマに意見交換を行いました。

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校と東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に両校の児童が通える規模の新校舎を整備。新校舎工事期間中は、もう一方の学校を統合小学校の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、統合小学校仮校舎を活用し、その間に桜道中学校の新校舎を整備するもの

柴又小学校単独改築、柴又地域一連の学校改築における施設規模について

		柴又小学校単独改築 (柴又小学校敷地建築)	柴又地域一連の学校改築	
			柴又小学校敷地に新校舎	東柴又小学校敷地に新校舎
仮校舎の 施設規模	建築面積 (延床面積)	約1,210㎡ (約3,420㎡)	(東柴又小学校敷地に増築) 約850㎡ (約1,700㎡)	(柴又小学校敷地に増築) 約550㎡ (約1,100㎡)
	校庭面積	0㎡	約2,800㎡	約1,600㎡
新校舎の 施設規模	建築面積 (延床面積)	3階建て 約2,600㎡ (約7,000㎡)	3階建て 約3,000㎡ (約8,000㎡)	4階建て 約2,350㎡ (約8,000㎡)
	校庭面積	約2,500㎡	約2,300㎡	約5,600㎡

※東柴又小学校敷地に新校舎を建てる場合、学校プールの地域開放の在り方については、今後検討する。

柴又地域一連の学校改築における防災機能について

- 避難所としては小学校1校分の減になるが、体育館を2階以上に設置して浸水時の避難者収容人数を現在より増やす見込みである。
- 新校舎では、太陽光パネルや蓄電池などの設備を導入するとともに、エレベーターの設置などバリアフリーに対応した施設とする。

各学校の歴史・文化の継承について

- 各学校の歴史や文化について紹介し、継承方法は改築方針に合わせて今後の懇談会で検討・議論する。

意見（要旨）

- 校庭が広くとれるなら、統合新校舎は東柴又小学校に建てたほうがいい。
- 統合後は避難所が1か所減るので、跡地を避難所として活用してほしい。
→（区）防災担当部署などとも協議し、跡地活用については今後検討していく。

懇談会資料は以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) > [柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



次回の学校改築懇談会（予定）

令和6年5月30日（木）午後7時 柴又学び交流館 3階レクリエーションホール

懇談会の傍聴を希望される方は、QRコードからお申込みください。



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）